

ゆめサロハ

便り

令和 6年
2月 26日
No.545



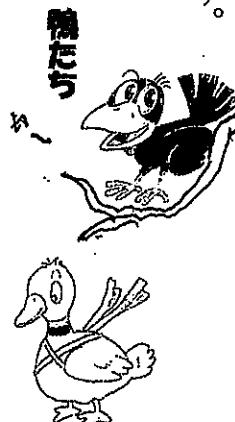
皆様へおこうむ

お久し振りです。

気がついてみればもう二月もあ
と僅か、もうじき三月ですね。
秋の終わりから、たくさんのこと
がありすぎてすっかり失礼をしてしまいました。

今朝、フェイスブックを開いて
落書きが花になつてあるなどな
たかの投稿を拝見して地球が回
つたことを実感しました。大げ
さですね。夫の手術などで体が
弱つたのか今度は腰が痛くて整
骨院を渡りあるいは病院に行
つたりで本来の癌はなおったの
に第三腰椎がひびがいつている
こと、これまた安静を指示され
故郷に帰ることもできなくて落
ち込みました。もうじき三
月ということを実感し心を入れ

かえてサロン便りに助けられて
います。どうぞ宜しくお願ひしま
す。



毎年川にカモが来るのを楽しみにしていた私はこちら倉敷にきて私が通るそばの川に沢山いるのがうれしくていつもみとれています。二十羽くらいの集団が幾つもあるのです。私がいてもびくともしません。暫く見とれて写真を撮つたりします。そんなある日夢を見ました。

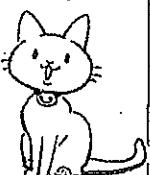
買い物した中に、おつゆに入れようとして買つっていた麩があつたのを全部撒いてやりました。

すると鴨たちが集団で襲つてきましたが夢ですかから仕方ありません。鴨はそんなものはたべないかもしれません。

なにもわからないまま今日も

鴨を見て通ります。

今日の 見聞録



私の生活は今、お付きの者の
ような生活です。お医者様が夫
を安静にさせるようにいわれた
のですが、私にも自由が欲し

くて、夫が寝た間に出かけるこ

とにしました。とはいっても行

くところはありません。そ

うだ

の？

といわれてがーん。それか

ら

私は又、可愛そうな婆さんに

なりました。早くなおつてくれ

ないと帰ることができない自由

のない婆さんのままです。

「予約したの？」

「予約したの？」

というので予約はしなくていい

よ」というと

「今日月曜日だがやつてくれる

美容院！と思ひ、まず鴨の傍を

通つていつもの店に買い物に

行きました。白鷺もいます。真

っ黒な鶴もいます。みんな黙つ

ています。今頃夫はよく寝てい

るだろう。と思い暫く鳥たちを

見ていました。すると雨がぽつ

ぽつ降つて来ました。干してき

た洗濯物が気になります。仕方

なくいつたん買い物をを済ま

せて帰りました。鳥たちは(こ

の婆さんは今日は早く帰るん

だな)というような顔で見てい

ます。先ほどまで青かつた空は

暗く曇つていました。帰つてみ

ると夫は起きていました。うる

さいのがいないからテレビでも

見ようと思ったのでしょうか。

「うちかえつたのではないよ

いんから洗濯物を入れに帰つ

た」というと

「予約したの？」

「予約したの？」

といわれました。話を聞くと指

さしたらカラスが逃げると教え

てくださる方がいるがにげない

といわれました。

「うう」ということでした。

今日その方

から椎茸をいただきました。

かくす



ウタニ

私が歩いていると空を指さしては笑う奥さんがおられました。この人何言いたいんだろうかと思つていると逃げないなあといわれました。話を聞くと指さしたらカラスが逃げると教えてくださいました。ううといふことでした。今日その方から椎茸をいただきました。